



岡山、玉野市長選前に

投票、選挙の意義学ぶ

玉野高で市選管出前授業

10月の岡山市長選 人、玉野市長選で45人と訴えた。

(1日投票)と玉野市が有権者となる。体育 模擬投票は、架空の長選(22日投票)を前館であった出前授業で自治体「宇野市」の市に、玉野高校(同市築は、玉野市選管職員が長選を想定。選管職員(港)は12日、同市選管「最近の選挙は年代別2人が候補者に扮し、による出前授業を実で見ると若い世代の投「大型商業施設を誘致施。2、3年生約27票率が低い。一票の積し、高校生向けに無料0人が選挙の仕組みやみ重ねが社会を動かバスを走らせる」「75投票参加の意義を学んだ。

玉野高校では、生徒ととしてしっかり考アピールした。生徒はのうち岡山市長選で19え、投票してほしい」本物の記載台と投票

箱を使って投票し、開た。
票作業にも参加。票を岡山市長選で有権者人柄をしっかりと見極仕分けした後、計数機となる3年佐原妃南さめ、投票に参加したい」で数えられる様子をん(17)は「私たちの一と話していた。
興味深そうに見守っ票の大切さがよく分か
(角南邦彦)